

令和6年5月31日

嬉野市議会
議長 辻 浩一 様

文教福祉常任委員会
委員長 諸上 栄大

文教福祉常任委員会報告書

令和6年第1回嬉野市議会定例会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則第107条の規定により報告する。

付託事件名 「市民福祉部及び教育委員会の所管に関する事項について」

調査の理由

幅広い福祉制度の中において、嬉野市の障がい者支援サービスに焦点を置き、その中でも、昨今事業者数が増加傾向にある障がい児通所サービスの放課後等デイサービスについて、現場の現状や課題を探り、これからの嬉野市の福祉行政の向上につなげるため。

調査の概要

① 障害福祉サービス及び障がい児通所給付費等事業について

調査日 令和6年3月28日（木）10時から12時まで

場 所 嬉野市役所 嬉野庁舎3-1会議室

対応者 嬉野市役所市民福祉部福祉課 課長 山口 貴行 氏
副課長 藤松 利恵子 氏
主査 桑原 清香 氏

1. 障害福祉サービスの概要

障害福祉サービスは、障害のある方の障害程度や社会活動、介護（支援）者の有無、居住などの状況を踏まえ、日常または社会生活における必要なサービスを提供するものである。対象者は、身体障害者手帳や療育手帳、障害者手帳（精神）をお持ちの方や自立支援療養（精神通院）を受給している方、難病患

者等である。

給付内容には、介護給付、訓練等給付、相談支援事業があり、介護給付は、居宅介護（ホームヘルプ）、重度訪問介護、同行援護、行動援護、重度障害者等包括支援、短期入所（ショートステイ）、療養介護、生活介護、施設入所支援がある。訓練等給付の内容は、自立訓練（機能訓練・生活訓練）、就労移行支援、就労継続支援（A型・B型）、就労定着支援、共同生活援助（グループホーム）、自立生活援助があり、相談支援事業には、計画相談支援、地域移行支援、地域定着支援がある。

サービスを利用した時の費用は、障がい者は生活保護世帯から一般世帯2までの4つの区分に分かれており、一般世帯2（市民税課税世帯（所得割16万円以上））の場合、利用者負担上限月額が37,200円である。また、障がい児（20歳未満の施設利用者を含む）においても、生活保護世帯から一般世帯2までの4つの区分に分けられ、一般世帯2（市民税課税世帯（所得割28万円以上））の場合、利用者負担上限月額が37,200円である。

障害福祉サービス利用の手順としては、①申請、②サービス等利用計画案の提出依頼、③認定調査、④審査・判定、⑤サービス等利用計画案の提出、⑥認定・通知、⑦サービス等利用計画の作成、⑧契約、⑨サービス利用開始という流れであり、申請からサービス利用開始までは、おおむね1か月程度の期間を要する。サービスの種類によって利用期間は異なるが、継続してサービスを利用する場合は、更新手続きが必要となり、利用者は原則として総費用額の1割の金額を支払うことになる。

2. 障がい児通所給付費等事業及び障がい児通所支援の現状等について

障がい児支援施策は、児童福祉法に基づき保障された施策であり、その対象は、児童福祉法における障がい児が対象である。具体的には、身体に障害のある児童、知的障害のある児童、難病等対象などの児童、発達障害を含む精神に障害のある児童である。対象児童の確認方法として、身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等の障害者手帳、特別児童扶養手当等を受給していることを証明する書類での確認が行われる。また、市町保健センター、児童相談所、保健所等へ意見を求め、障害が想定され支援の必要性が認められる児童も対象となる。

障がい児支援、相談支援に係る給付の障害福祉サービス等の体系は、通所系、訪問系、入所系の障がい児支援に係るものと、相談支援系に大別され、利用者の推移をみても、全国的に利用者は増加傾向であり、その中でも放課後等デイサービスにおける令和2年度の費用額は約3,723億円であり、障害福祉サービス等全体総額の12.6%、障がい児支援全体の総費用額の68.4%を占めている。

総費用額、利用児童数、請求事業所数とも大幅な増加を続けており、平成 24 年度から令和 2 年度の伸びは、児童発達支援が 3.5 倍に対し、放課後等デイサービスは 7.8 倍となっている。嬉野市の利用者数や決算額の推移をみても右肩上がりの状況である。

その一方で、計画相談支援事業所が少ないため、セルフプランになりやすいという傾向があり、多様化する利用者ニーズに対して事業所数が不足している。また、保護者支援の課題などがあり、制度や給付費の見直しなどの必要性も感じた。

調査の概要

② 放課後等デイサービスについて

調査日 令和 6 年 4 月 22 日（月） 10 時から 15 時まで

場 所 嬉野市塩田町五町田甲 322-1 ココロテラス
嬉野市嬉野町大字下宿乙 316-3 放課後等デイサービスはればれ

対応者 ココロテラス 香田 大蔵 氏
はればれ 中林 正太 氏
永田 真紀 氏

(1) 放課後等デイサービスとは

放課後等デイサービスとは、2012 年の児童福祉法改正に伴い創設された福祉サービスであり、その基本的な役割は、子どもの最善の利益の保障、共生社会の実現に向けた後方支援、保護者支援である。具体的には、障害のある就学児童（小学生・中学生・高校生）が学校の授業終了後や長期休暇中に通うことができる施設である。生活力向上のための様々なプログラムが行われている施設もあれば、専門的な療育を受けることができる施設もあり、障がい児の学童クラブではない。

(2) ココロテラスの現状と課題について

嬉野市塩田町五町田に所在する障がい児・障がい者通所支援事業所である。知的発達障がい児の定員 10 名、重症心身障がい児の定員 5 名で放課後等デイサービスを展開しており、障害種別の違うクラスを併設している事業所は県内でも 5 カ所程度しかない状況である。また、2022 年 4 月から障害者総合支援法に基づくサービスである「生活介護」を開設

し、学校卒業後でも通える事業を展開している。

支援方針として、①発達障害（ASD）の理解を基本に行う。②個別化する。③アセスメントから始める。④実証された方法を活用する。⑤目的は自立。⑥親やチーム間の「協働」を重視する。の6項目が掲げられており、自閉スペクトラム症（ASD）、注意欠如多動症（ADHD）、局所性学習症（LD）等の発達障がい児に対しサービスを提供している。利用児童の障害程度も様々であるが、その障害種別を適切に把握（アセスメント）し、パーテーションをうまく活用することにより、刺激の緩和を行うスペースを設ける等、事業所内において細やかな配慮と対応がいくつものなされていた。

課題としては、サービス利用計画を作成する事業所が少ないために、どうしてもセルフプラン（利用者本人や家族等が作成）になりがちで、児童に合った適切なサービス利用計画の作成がなされていないおそれがあるという点、また、市内の小学校との連携が難しいという点が挙げられた。

（3）はればれの現状と課題について

「地域共生、地域協和」の理念の下、将来的に就労支援事業まで事業展開を行っていくことを視野に入れ、その第1歩として令和4年1月に放課後等デイサービスを嬉野町で開設した。「子どもたちの豊かな感性を伸ばす体験を」というコンセプトに、①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性の各分野において、「ねらい」と「支援内容」が明確に決められ事業が行われている。また、法人内の介護事業所との連携による農業体験や市内・市外散策、有名アーティストと協働し事業所のシャッターに絵を描くなど、利用する児童たちに様々な体験を提供する事業所独特の支援も行われている。職員体制は、児童発達支援管理責任者、児童指導員、保育士等の6名である。利用定員は現在10名であるが、これから利用者が増えていくと見込まれている。

しかし、まだまだサービスの認知度が低く、人材の採用難や発達障害への理解不足に伴うサービスの利用控え、また、学校や放課後児童クラブ、他の障害福祉事業所との連携不足が課題であるとのことであった。

委員会の意見

今回、放課後等デイサービスに焦点を絞り、市内の事業所に出向き調査研究を行った。制度的には、おおむね理解はしていたものの実際に現場を視察し、受け入れる児童の障害程度に応じた細やかな配慮がされていることに驚嘆した。

ココロテラスにおいては、机や椅子の形状にこだわり、児童の姿勢維持や着座時間の拡張を支援するための対応や、パーテーションで小さな空間を作り、児童が落ち着いた環境で過ごせる場の提供が行われていた。また、専門職の見識を活用し、感覚統合の遊具を置いたセラピールームを設けるなど配慮がされていた。

はればれでは、部屋の壁をボルダリングウォールに改修し、屋内でも遊ぶことができるよう工夫され、また、川遊びや法人内の事業所と連携した体験型療育など、児童の豊かな感性を伸ばす取り組みが行われていた。

放課後等デイサービスなどにより、障害を持った子どもたちへの支援が行われているが、サービスの対象年齢を過ぎ、社会生活を始めなければならなくなった時の支援のバトンタッチや、特に、知的障害や自閉症、学習障害等を持った障がい者に対しての受け皿の確保等、多くの課題を考えさせられた調査研究となった。

最後に、子どもの発達段階においては、行政の横断的な取り組みが重要であることを再認識し、制度の切れ目や、支援のはざまにいる児童に対しても光を当てよう更に議論を深め、本市においても子どもまんなか社会の実現に向けた取り組みが積極的に行われることを強く望む。